

情報通

2021. February 2月号

発行：東京税理士会 情報システム部
題字：神津 信一 (四谷)
(税理士会員章の日輪と八重桜をイメージしています。)

ちょっと見ない間にこんなに便利になっていた！ ～確定申告書等作成コーナー～

情報システム部委員 森内 康裕

1. はじめに

今回のお題は、国税庁のHPにある確定申告書等作成コーナーのご紹介です。情報通で取り上げるのは、2015年の2月号以来です。少し見ない間にたくさんのリニューアルを繰り返し、とても利用者に優しくなっていました！



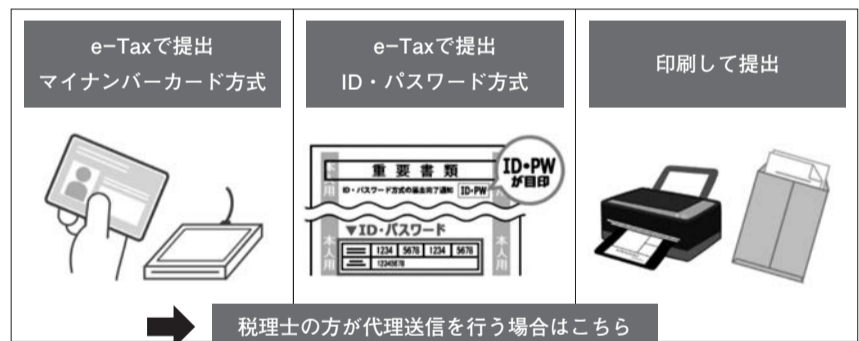
まず、左図のページまで辿り着かなければなりません。辿り着き方はいくつかありますが、国税庁HPトップ→《申告手続》の中の《国税電子申告・納税システム(e-Tax)》の右上【各ソフト・コーナー】をクリック→

《確定申告書等作成コーナー》を選択すると辿り着けます。辿り着いたら、【作成開始】ボタンでいよいよ作成開始です。今までのとおり、作成したデータを保存できるので、保存後はこのボタンの右にある【保存データを利用して作成】を押して始めます。

2. 申告方法の選択



左の【作成開始】ボタンを押すと、下図のような申告方法の選択画面が開きます。数年前より【ID・パスワード方式】が登場し、申告方法の選択画面が華やかになりましたが、代理送信する場合は、一番下まで下がると現れる【税理士の方が代理送信を行う場合はこちら】から入ります。

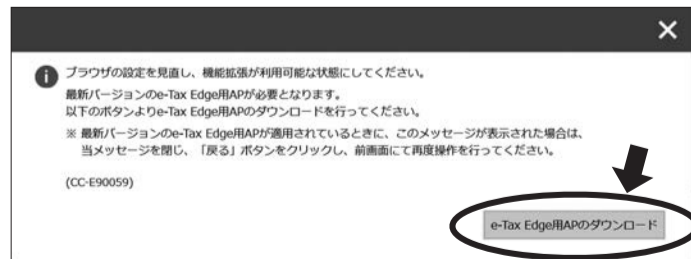


3. 事前準備 (前半)

次に、事前準備の画面が登場します。パソコンの環境によっては、先に進めなくなりますので、ここの画面で自身のパソコンの環境をチェックします。少し見ない間に利用者に優しくなっていて、各項目から解説に飛べたり、普通に進めていけば無理なくゴールを目指せるようになっています。ここでのポイントをいくつか挙げておきます。

(1) 【年度の事前準備】を要求されますので、【事前準備セットアップ】ボタンを押してください。初めて当作成コーナーを使う場合でも、前年利用した場合でも、再度、今年度用にアップデートします。

(2) 国税庁において動作を確認したインターネットブラウザ等の環境



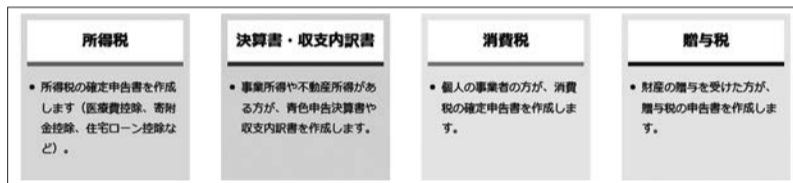
が表示されていますが、次の画面に進もうとすると、次のような画面が表示される事があります。ですが、驚かず右下のダウンロードボタンを押して、必要なソフトをダウンロードしてください。

(3) 【電子証明書の登録・再登録】の欄では、「税理士の方が初めて代理送信をされる場合などで電子証明書の登録・再登録が必要な場合、こちらから行ってください」と記されています。何度も言いますが、少し見ない間に利用者に優しくなっているので、いわれるままに進んでいけ

ば、事前設定が完了します。右下の【利用規約に同意して次へ】を押して入力開始です。

4. 事前確認 (後半)

数字の入力の前に、納税者の情報を入力します。まず納税者の利用者識別番号と暗証番号を尋ねられます。代理送信する場合は利用者識別番号だけでも送信可能ですが、参考までに、ここで利用者識別番号と暗証番号を入れることで、氏名・住所・生年月日はもとより申告の種類・予定納税額・振替納税・消費税の課税事業者区分・簡易課税制度選択・中間納付税額等の情報まで教えてくれます。こんなことができるようになっていたとは…そして、次の画面から作成する申告書等を選びます。



5. 申告書の作成

いよいよ申告書の作成です。前述の作成する申告書より「所得税」を選択すると下図の画面になります。この画面から作成を開始して、必要項目を入力していけば申告書が完成されます。



6. 送信

ここまで来たら後はついに送信です。送信準備の画面で【税理士等に関する入力がありますか?】の **はい** を押すと下図のように税理士情報を入力することができます。



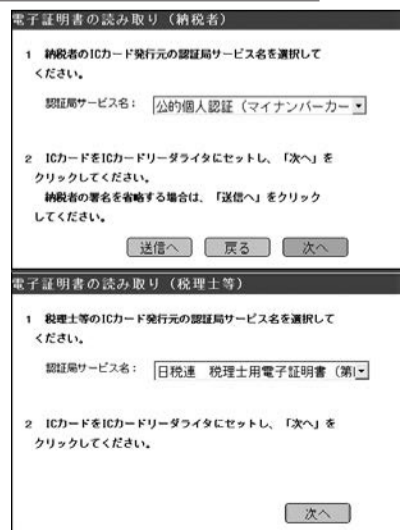
この画面を終えて次の画面に進むと【同時に送信する決算書等データの選択】画面になり、ここで税務代理権限証明書も添付するのですが、**税務代理権**

限証明書は、この確定申告書等作成コーナーでは作成できません！作成コーナーに入る前にe-Taxソフトで事前に作成しておいてください。署名画面は、右図のように納税者の署名が

要求されますが、これを省略して送信ボタンを押すと税理士の署名画面になります。これで送信ができます。

7. 最後に

令和2年分からマイナポータルに連携できるようになっています。右図の作成画面の前にマイナポータルに連携するか否かを選択する画面が登場します。ただ、実務的に連携を行うことはまだ難しいと思いますので、初心者の方は連携はスルーして利用した方が良さそうです。



※ 当記事の内容は令和3年1月現在の情報です。